



Switch!

ピンチ チャンス
浸水 を 親水 に変える サステナブルモデル事業

江戸川区



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

水とみどりが豊かで 都市と自然が共生する 安らぎのまち

- 都内唯一のラムサール条約登録湿地である葛西海浜公園
- 区内各所に「親水公園」を整備（日本初）



地勢的に水害が 大きなリスクに

- 陸域面積の約7割が海拔ゼロメートル地帯
- 大規模水害が起こると長いところでは2週間浸水が続く可能性も
- 被災者数は日本一多くなる恐れ



水害を激甚化・頻発化させる根本原因である
「気候変動」の問題に、江戸川区は本気で取り組む

水害リスクが身近にある
江戸川区だからこそ、
気候変動の問題が
「自分ごと」に

水害リスクを低減させ、
誰もが「安心して暮らす」
ことができる地域社会
の実現を

Switch! 浸水 を 親水 に変えるサステナブルモデル事業

経済



水害リスクと豊かな水辺環境を活かした産業の活性化

- 水辺を活用した集客施設の誘致
- 「水」をテーマにしたイベントの開催
- ドローン関連企業との連携（災害時）
- SDGsパートナー企業
- SDGs活動企業支援融資

社会



地域コミュニティの醸成と持続可能な共生社会の実現

- ユニバーサルデザインのまちづくり
- 「言語」としての手話の普及
- (全国初) 大規模水害時の広域避難宿泊補助
- (都内初) 避難行動要支援者の避難計画
- えどがわSDGsみらいポイント

三側面をつなぐ統合的取組

えどがわローカル脱炭素プロジェクト

環境



地球温暖化対策による豊かな水辺環境の保全

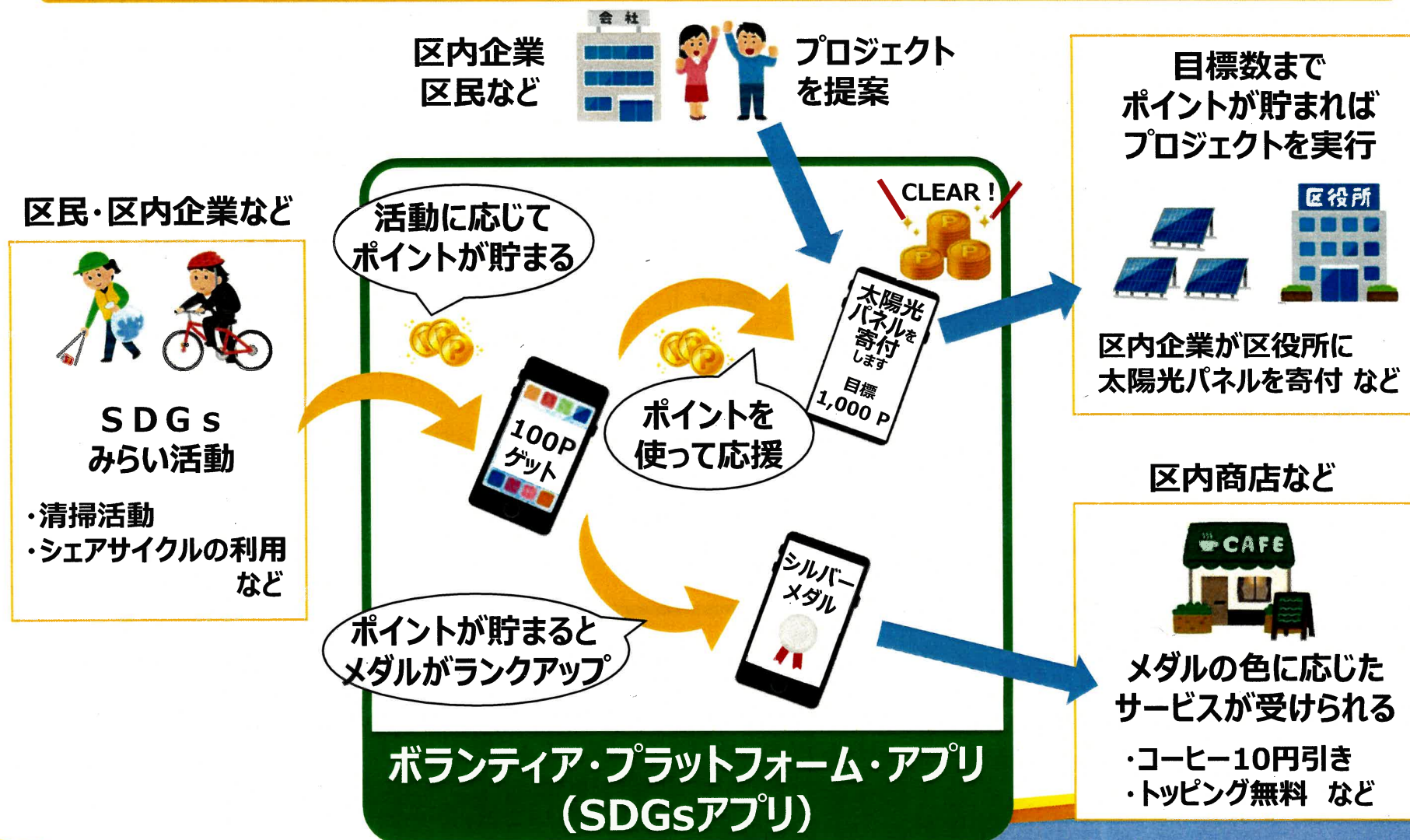
- (都内初) 気候変動適応センターの設置
- 再生可能エネルギーの活用促進
- カーボンオフセットの取組推進
- 校舎改築時における国産木材の活用
- 区民一人あたりの樹木数・公園面積の拡大

海抜ゼロメートル自治体が本気で挑む

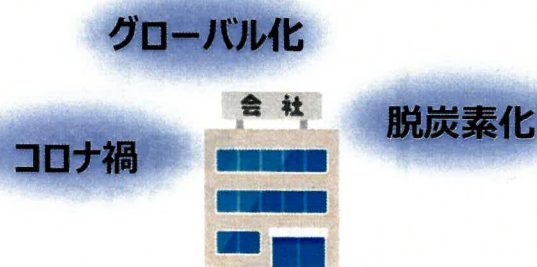
えどがわローカル脱炭素プロジェクト

- ① ボランティア・プラットフォームによる脱炭素の実現
- ② 区内企業によるカーボン・ニュートラル製品の開発促進
- ③ 気候変動適応センターによるローカル・カーボン・ニュートラル制度の構築

① ボランティア・プラットフォームによる脱炭素の実現



② 区内企業によるカーボン・ニュートラル製品の開発促進



製造業比率の高い
区内企業の経営環境は
一段と厳しさを増す

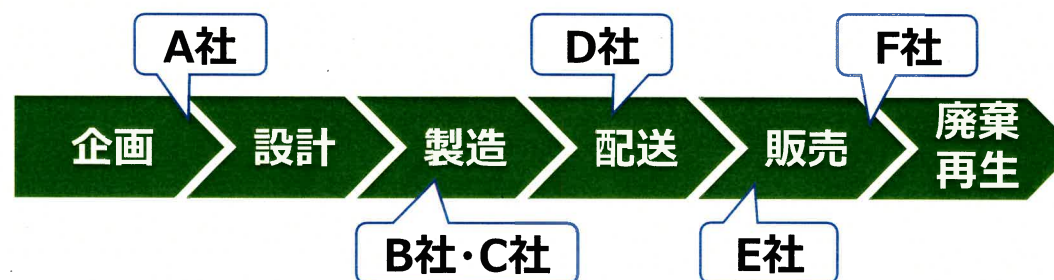


新たな産業を創出し、
区内企業の競争力を強化
するチャンスに！

取組に賛同する区内企業による協議会を設置



区内企業力を結集し全ての工程を脱炭素化
(カーボン・ニュートラル化)した製品を開発



区内企業の競争力を強化

- ビジネスとして自立するよう販売促進にも注力
- 取組により得た知見が区全体の経験値となるよう、他の区内企業とも共有

③ 気候変動適応センターによるローカル・カーボン・ニュートラル制度の構築

(仮) ローカル・カーボン・ニュートラル研究会

都内初!

江戸川区
気候変動適応センター



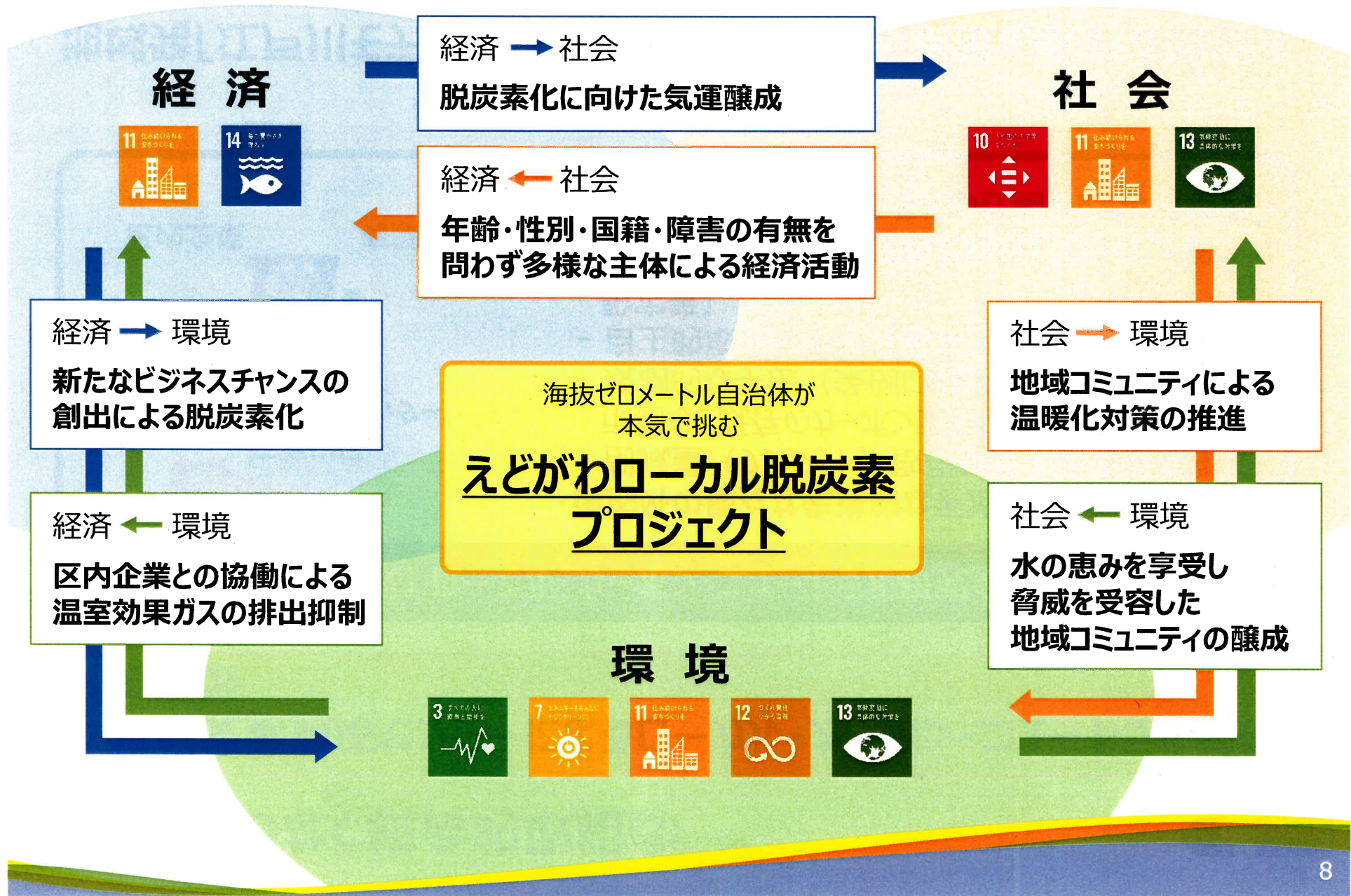
区内企業

有識者

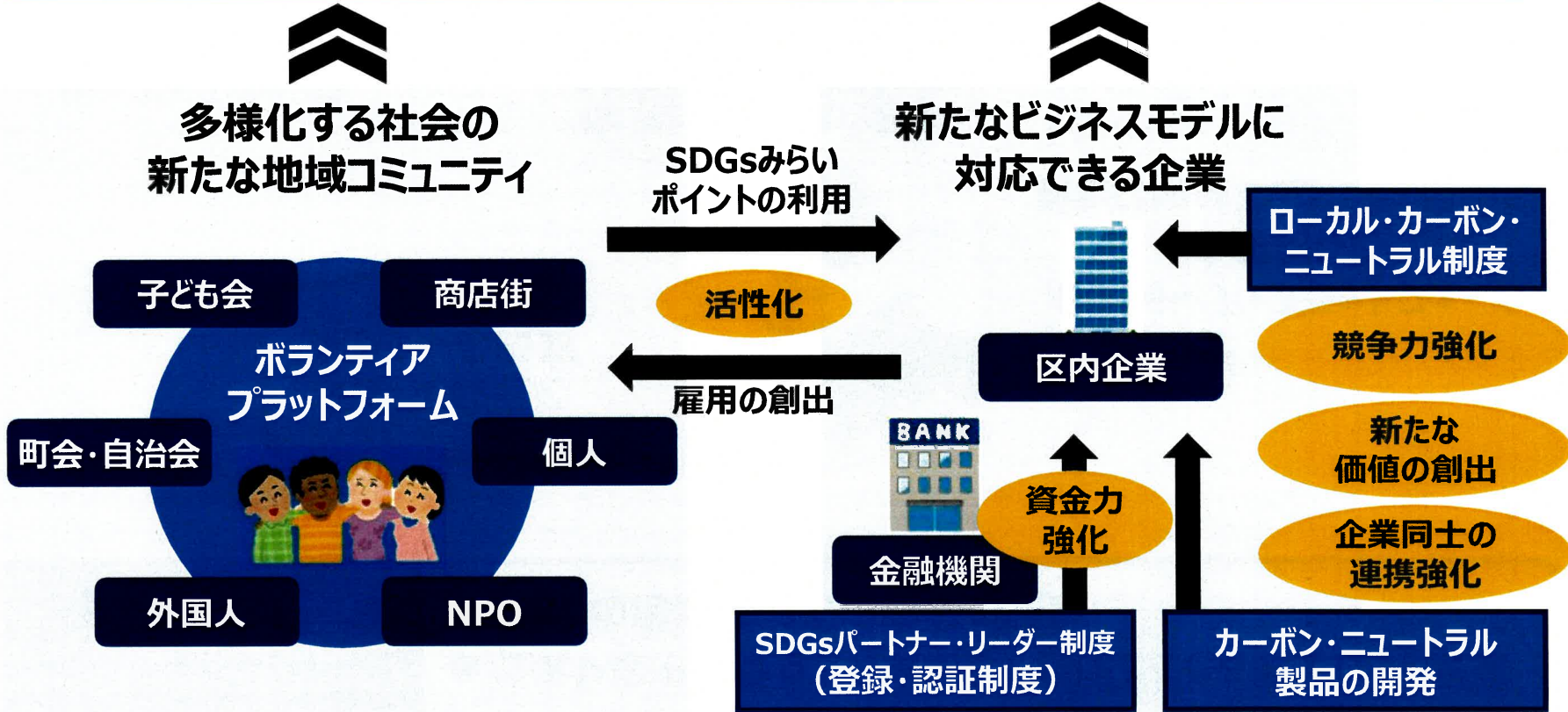
- ・国内外の様々な先進的な手法について研究
 - 削減量（クレジット）取引や非化石価値取引市場など既存のカーボンプライシング制度
 - 規制的手法（条例による規制等）
 - 自主的取組の手法（事業者の努力目標の設定等）など
- ・中小企業や地域が持続的に利用していくことができるカーボン・ニュートラルの仕組みについて検討

地域発「江戸川モデル」のカーボン・ニュートラル制度の設計を目指す

経済、社会、環境の各側面の相乗効果



ステークホルダー同士が連携し自律的に行動する サステナブルな自治体



大規模水害

- 台風や集中豪雨などの水害は、全国どこでも発生しうる災害
- すべての自治体共通の喫緊の課題

気候変動適応
センターの設置

ボランティア・プラットフォーム
を活用した
新たな地域コミュニティの形成

災害時避難行動
要支援者の
避難計画策定

先進的な取組を
全国に発信